

京都市 21 世紀産業振興ビジョン策定委員会

第 1 回会議（概要）

日 時	平成 13 年 6 月 26 日(火)午後 3 時から 5 時まで
場 所	京都リサーチパーク会議室「ルーム 1」
出 席 者	筋祥子委員，上林弥彦委員，佐々木佳代委員，堀場雅夫委員，宗田好史委員， 吉田和男委員，吉田忠嗣委員，高木壽一委員，西口光博委員
次 第	開会・挨拶（高木壽一・京都市副市長） 委員長・副委員長選出 ○ 委員長に吉田和男委員，副委員長に宗田好史委員を選出 審議会の進め方 ○ 公開にて審議することを決定 ビジョン策定に関する趣旨説明 ○ 事務局から資料等に従い説明 ・ 「現行ビジョンの概要と実施状況」 ・ 「京都市を巡る経済状況等について」 ・ 「最近の国，府，市，経済団体のプラン等の概要について」 意見交換（主な意見） ・ ビジョンの目標年次は，2010 年とする。 ・ ビジョンは，「ものづくり」を視点に，京都産業の活性化を考えていく。 ・ 古い体質，体制を打破し，新しい「ネオ中小企業」を創出すべき。 ・ 結果の平等性ではなく，本当に必要なところへの支援を行うべき。 ・ 今後の産業には，消費者・生活者の視点を取り入れるべき。 ・ 伝統産業は，芸術(文化)なのか産業なのかははっきりしていないことが問題。 ・ ベンチャー企業を育成するためには，ある程度失敗を許容するような環境づくりが必要。 ・ 大学を市内に呼び戻し，若者の流出に歯止めをかけることが必要。 ・ 京都にビジネススクールをつくり，京都を再びベンチャービジネスの都にすべき。 ・ ビジョンでは，量から質への転換が必要。